

埼バド発 第41号-1
平成29年9月20日
埼玉県バドミントン協会
会長 磯井 貞夫
埼玉県私立高等学校バドミントン連盟
会長 松崎 洋右

各私立高等学校長殿

平成29年度第35回埼玉県私立高等学校バドミントン大会

実 施 要 項

1. 主 催 埼玉県バドミントン協会
2. 主 管 埼玉県私立高等学校バドミントン連盟
3. 後 援 埼玉県私立中学高等学校協会
4. 期 日 平成29年12月27日(水)・28日(木)・29日(金) 8時30分開場(27日女子8時20分)
【12月27日(水) 準備終了後、開会式 競技開始9時30分 団体A戦決勝戦まで 複ABC 単C】
【12月28日(木) 複AB 決勝まで 単C】
【12月29日(金) 単ABC 決勝まで 団体戦B 表彰式 閉会式 16時を予定】
5. 会 場 27日(水) 彩の国くまがやドーム(男子) 【TEL 048-526-2004】
深谷ビッグタートル(女子) 【TEL 048-572-3000】
28日(木) 彩の国くまがやドーム 【TEL 048-526-2004】
29日(金) 彩の国くまがやドーム 【TEL 048-526-2004】
6. 種 目 団体戦(男女 A…各学校対抗 B…交流戦)
個人戦(男女 各シングルス Aブロック、Bブロック、Cブロック)
(男女 各ダブルス Aブロック、Bブロック、Cブロック)
(本年度、県大会出場資格を持つ選手は、B、Cブロックに出場できない。)
(Cブロックは、1年生のみで、中学の部活、小・中学校でジュニアチームに所属していた生徒は出場できない)
(ダブルスは両者とも資格を有すること)ダブルスは、大会当日の変更を最小限度認める。
7. 競技規定 (1)平成29年度(公財)日本バドミントン協会競技規則並びに同大会運営規定、
公認審判員規程による。
(2)平成29年度(公財)日本バドミントン協会検定合格水鳥シャトルを使用する。
(使用シャトルは本部より支給する)
8. 競技方法 (1)学校対抗A
①トーナメント戦方式とし、3位決定戦は行わない。
②複2組・単1名で行い、試合順序は複1、単・複2で実施する。なお、単は複と兼ねることはできない。
③1対抗戦は、2マッチ先取とする。
④監督・コーチ・マネージャ・選手の変更は大会初日開会式前本部で受け付けるので書面にて提出してください。(書式自由)
(2)学校対抗B(交流戦で1校何チームでも出場可)
①最終日の午後に空いたコートを利用した交流戦方式とする。

- ② 複1・単・複2の順で実施。なお、単は複と兼ねることはできない。
- ③ 1チーム5名から10名で編成。各校何チームでも参加できるが、兼ねられない。
- ④ 最終日の最終種目がコールされてから15分後に打ち切る。
- ⑤ オーダーは、対戦の挨拶時にお互いで発表し合う。
- ⑥ 対戦時審判は、空の審判用紙を本部から受領し、試合後本部席に提出する。
- ⑦ 参加数により、対戦方法を検討する。
- ⑧ シャトルは持ち寄りとする。

(3) 個人対抗 単・複を行い、Aブロックはリーグ戦の後勝者がトーナメント戦に出場できる。B・Cブロックはすべてトーナメント戦で行い、いずれも3位決定戦は行わない。

9. 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍し、埼玉県私立中学高等学校協会加盟している高等学校の生徒とする。
- (2) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の混成は認めない
- (3) 参加校の監督・選手・コーチは健康診査を受けて健康を確認し、更に大会関係期間中の事故及び傷病について、大会主催者は一切の責任を負いかねるので、自己責任として災害・傷害保険等に加入し、学校長の承認を得て参加すること。

10. 参加制限

- (1) 学校対抗
 - ① チーム編成は、1校1チームとし、監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手5～7名（同一校選手）とする。
 - ② 外国人留学生の出場できる試合は、その出場人数（1名又は2名）にかかわらず、1対抗戦において1試合だけとする。
- (2) 個人対抗 単・複とも監督1名のみとし、複の選手は同一校選手であること。
- (3) 引率責任者及び監督・マネージャー
 - ① 引率責任者は、当該校の教員とする。
 - ② 監督・コーチは、学校長の認める指導者とし、それぞれ外部指導者の場合は、障害・賠償責任保険（スポーツ安全保険）に必ず加入することを条件とする。
 - ③ マネージャーは、当該校の教職員または生徒とする。

11. 申し込み

所定の大会参加申込書に記入・捺印の上、平成29年11月24日（金）【必着】まで〒336-0975 埼玉県さいたま市緑区代山172 浦和学院高等学校 坂本 恵里 宛に申し込むこと。

その際には『私学大会 参加申込書在中』と朱書すること。極力メールでも送ってください。

MAIL e-sakamoto@uragaku.ac.jp

※個人情報の取り扱いについて

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

12. 参加費

団体戦…2,000円 シングルス（1人）1,000円 ダブルス（1組）2,000円

13. 表彰

優勝校に優勝旗・優勝杯（持ち回り）と賞状を、ベスト4入賞校にトロフィーと賞状を、個人戦ベスト4入賞者にトロフィーと賞状を授与する。

14. 組み合わせ

埼玉県私立高等学校バドミントン専門委員会の責任において行う。

15. 試合進行等

- (1) すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。各ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。また、指示・助言は2人までできる。主審が20秒とコールしたらコートを離れるものとする。
- (2) 学校対抗
 - ① 試合進行等の遅れなどにより、試合を並行して行う場合もある。
 - ② 同一校が連続して試合を行う場合には、前試合が終了後15分間の間隔をおいてから次試合を始める。

(3) 個人対抗 同一選手が連続して試合を行う場合には、前試合が終了後 15 分間の間隔をおいてから次試合を始める。

(4) 練習時間 学校対抗戦は各試合前に 2 分間行い、個人対抗戦は練習なし。

16. 連絡事項

(1) 競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア、シューズを着用すること。色付きの着衣を使用する場合及びシューズは、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。

(2) 出場選手は、上衣の背面中央に必ず高等学校名及び県名を日本語で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。

(判別しにくいものには、ゼッケンを使用してもらいがある。)

【上段：学校名(やや大きく)、下段：県名】

ゼッケンを使用する場合、白の布地でたて 15cm・横 30cm の大きさを基準とする。

(ゼッケンの場合、文字の色は黒色又は濃紺色とする。)

(3) 選手・生徒は、必ず当該校引率責任者(当該校教員)によって引率され、引率責任者は選手・生徒の行動に責任を負うものとする。

(4) 引率責任者は、毎朝必ず受付(本部席横)をすること。

(第 1 日目は開会式開始前に行う)

(5) 引率責任者・監督・選手は開会式に参列をすること。又、2 日目以降も諸注意があるので、朝から参加すること。

(6) 開会式に参加する選手(団体戦・個人戦 B シングルス出場者)の服装は、ユニフォーム又は競技時のものとする。

(7) 団体戦(学校対抗)・個人戦(個人対抗)は、コーチングシートを設ける。

(8) マッチ中、選手の水分補給を認めるが、必ず主審の許可を得ること。(クーラーボックスのベンチ持ち込みは禁止)容器は倒れてもこぼれないスクイズボトル、プッシュ・プル・キャップボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れること。

学校対抗の折り、ベンチでの水分補給を認めるが、床を濡らさないこと。

(9) 氷嚢はクーラーバックに入れ、ベンチ及びコーチングシート付近に持ち込むことを認める。

(10) 団体戦は、所定のオーダー用紙を使用し、提出時間を厳守すること。

(オーダー用紙は提出時間に両校の代表者が本部席横オーダー交換所で交換する。)

(11) 団体戦は時間の都合上 2 つ以上のコートで同時に行うこともある。進行状況によってコート及び試合時刻が変わることがあるので、場内アナウンスに十分注意をすること。

(12) 審判は本部よりコート・学校を指定するので、協力してください。

審判団(主審 1, 線審 2, 得点表示 1)

主審は審判用紙・シャトルを本部席から受け取り、速やかに試合を開始する。

試合が終了したら、審判用紙・シャトルを本部席に戻しチェックを受け、次の指示を受ける。顧問の先生は自校コートの試合進行状況を常に把握しててください。

(13) 体育館のフロアー以外(ロビー・通路・観客席等)では、絶対にシャトルを打たない。

(14) 体育館の施設・設備に損害を与えたときは、速やかに申し出ること。

(15) 更衣室・シャワー室に荷物を置かないこと。盗難には各自が気をつけること。

17. 問合せ先

戸川 力夫 〒 350-1170 埼玉県川越市むさし野 26-50

Tel・Fax 049-241-1765 携帯電話 090-3069-6561

www.saibad.com/koukou/saitamasigaku/